

# 第36回原子力船「むつ」安全監視委員会

日時：平成25年7月23日(火)

14:00～15:00

場所：アラスカ 2階 ガーネット

## 次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事
  - (1)平成24年度の放射能監視結果について
  - (2)その他
4. 閉会

## 配付資料

- 資料1 独立行政法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターむつ事務所に係る放射能監視結果(青森県・むつ市実施分 平成24年4月～平成25年3月)
- 資料2 独立行政法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターむつ事務所に係る放射能監視結果(独立行政法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターむつ事務所実施分 平成24年4月～平成25年3月)
- 資料3 青森研究開発センターむつ事務所附帯陸上施設等の現状と今後の予定
- 参考資料1 独立行政法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターむつ事務所に係る放射能監視計画(青森県・むつ市実施分)
- 参考資料2 独立行政法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターむつ事務所に係る放射能監視計画(独立行政法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターむつ事務所実施分)
- 参考資料3 原子力船「むつ」安全監視委員会開催状況

## 出 席 者

### 1. 原子力船「むつ」安全監視委員会委員

委 員 名	役 職	備 考
久松 俊一	公益財団法人環境科学技術研究所環境影響研究部長	会長
滝澤 行雄	秋田大学名誉教授・国立水俣病研究センター顧問	
伊藤 道郎	むつ市総務政策部長	
熊木 正徳	青森県漁業協同組合連合会 指導部長 (代理出席者：指導課 課長代理 兼平 欣一)	
原田 啓一	青森県環境生活部 次長	
奥村 智之	青森県エネルギー総合対策局 次長	

### 2. 事業者

氏 名	職 名
藪内 典明	独立行政法人 日本原子力研究開発機構 青森研究開発センター むつ事務所 次長
小畑 一一	独立行政法人 日本原子力研究開発機構 青森研究開発センター むつ事務所 保安全管理課長
北原 勝美	独立行政法人 日本原子力研究開発機構 青森研究開発センター むつ事務所 施設管理課

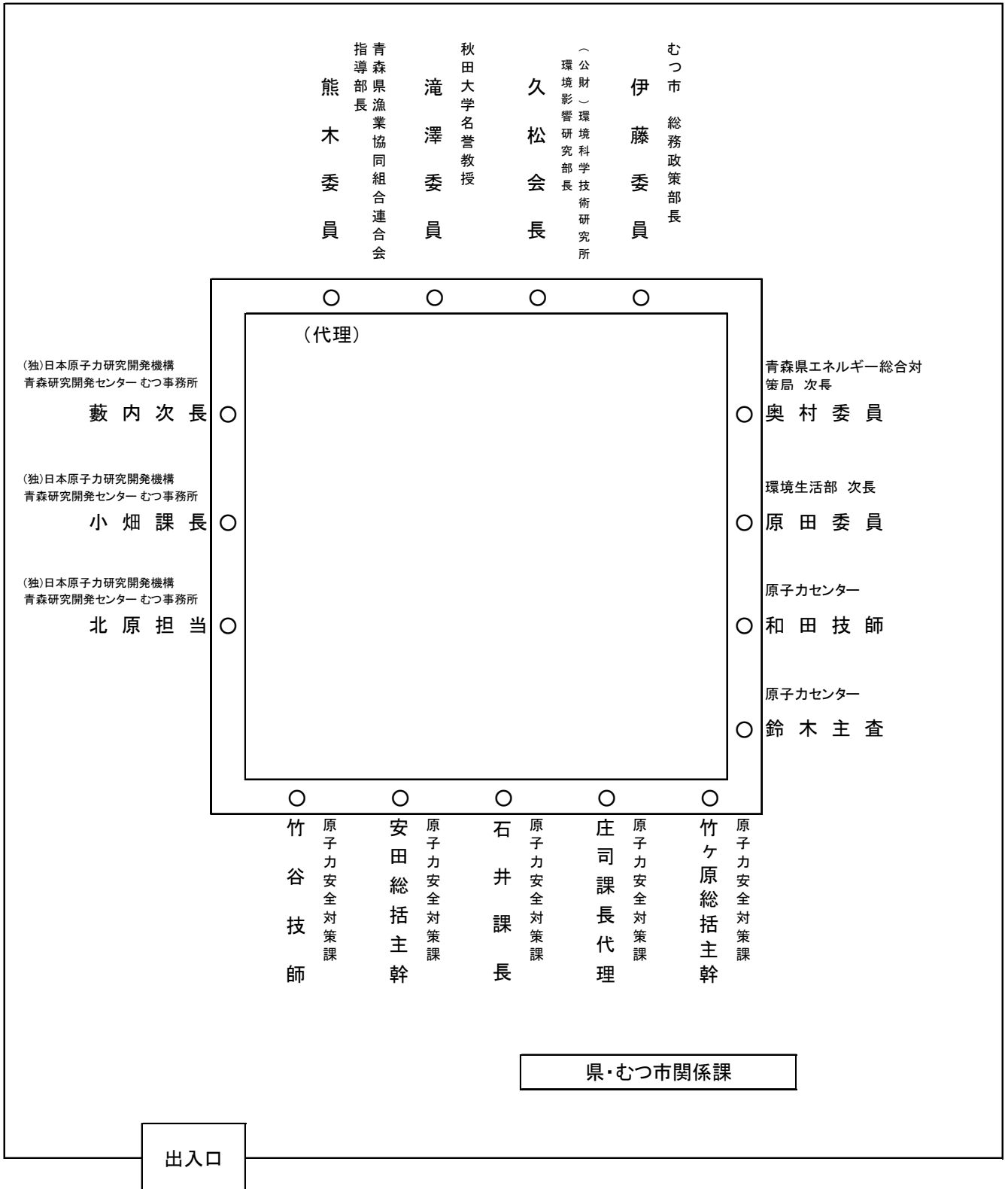
### 3. 事務局

氏 名	職 名	
石井 輝彦	青森県環境生活部 原子力安全対策課 課長	
庄司 博光	〃	課長代理
安田 浩	〃	総括主幹
竹ヶ原 仁	〃	総括主幹
竹谷 公貴	〃	技師
鈴木 将文	青森県原子力センター 安全監視課	主査
和田 浩司	〃	技師

# 第36回原子力船「むつ」安全監視委員会席図

日時：7月23日 14:00～

場所：アラスカ ガーネット



## 原子力船「むつ」安全監視委員会の設置及び運営に関する要綱

### (目的及び設置)

第1条 青森県、むつ市及び青森県漁業協同組合連合会（以下「青森県等」という。）は、独立行政法人日本原子力研究開発機構むつ事業所周辺地域等の環境の保全及び住民の安全の確保のため、放射能の監視等を適切かつ円滑に実施することを目的として、原子力船「むつ」安全監視委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 青森県等の環境放射能の測定計画、測定の実施方法、測定結果の評価等について審議すること。
- (2) 必要に応じ、青森県等が行う放射能の監視作業等に立ち会い、又は自ら放射能の監視等を行うこと。
- (3) そのほか独立行政法人日本原子力研究開発機構むつ事業所周辺地域等の環境の保全及び住民の安全の確保に関する必要な事項について審議すること。

### (組織)

第3条 委員会は、委員8人で組織する。

### (会長)

第4条 委員会に会長1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理する。

3 会長に事故があるときは、予めその指名する委員が、その職務を代理する。

### (委員)

第5条 委員には、次に掲げる者をもつて充てる。

青森県が推せんする学識経験者 2人

むつ市が推せんする学識経験者 1人

青森県漁業協同組合連合会が推せんする学識経験者 1人

青森県の職員 2人

むつ市の職員 1人

青森県漁業協同組合連合会の職員 1人

2 委員の任期は、委員会の存続期間とする。

3 委員は、当該委員の推せん者及び会長の承認を得て、委員を辞することができる。

### (庶務)

第6条 委員会の庶務は、青森県環境生活部において統括し、及び処理する。

### (雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

- ・昭和49年10月14日 締結
- ・昭和57年8月30日 要綱の一部を改正する要綱締結
- ・昭和63年2月18日 要綱の一部を改正する要綱締結
- ・平成18年1月31日 要綱の一部を改正する要綱締結

- ・締結当事者  
青森県知事  
むつ市長  
青森県漁業協同組合連合会代表理事会長

# 原子力船「むつ」安全監視委員会委員名簿

(平成25年 7月23日現在)

委員	役職名	備考
ひさまつ しゅんいち 久松 俊一	公益財団法人環境科学技術研究所 環境影響研究部長	会長 青森県推薦 学識経験者
たきざわ ゆき お 滝澤 行雄	秋田大学名誉教授・ 国立水俣病総合研究センター顧問	むつ市推薦 学識経験者
はらだ けいいち 原田 啓一	青森県 環境生活部 次長	青森県職員
おくむら ともゆき 奥村 智之	青森県 エネルギー総合対策局 次長	青森県職員
いとう みちお 伊藤 道郎	むつ市 総務政策部 部長	むつ市職員
くまき まさのり 熊木 正徳	青森県漁業協同組合連合会 指導部 部長	青森県漁業協 同組合連合会 職員

独立行政法人日本原子力研究開発機構  
青森研究開発センターむつ事務所に係る放射能監視結果

(平成24年4月～平成25年3月)

(青森県・むつ市実施分)

平成25年7月

青森県・むつ市

## 目 次

1. 固体廃棄物（立入調査） .....	1
2. 空間放射線 .....	2
3. 環境試料の核種分析 .....	2

## 1. 固体廃棄物（立入調査）

青森県及びむつ市は、放射能監視計画に基づき、独立行政法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターむつ事務所への立入調査を実施し、固体廃棄物が適正に管理・保管されていることを確認した\*。

調査により確認した固体廃棄物の保管状況は、表1のとおりである。

表1 固体廃棄物の保管状況

保管場所	区 分	定 期 立 入 調 査	
		平成24年8月1日	平成25年2月14日
燃料・廃棄物 取 扱 棟	200ℓドラム缶	498本	500本
	1 m <sup>3</sup> 鋼製容器	27個	27個
	3 m <sup>3</sup> 鋼製容器	3個	3個
	使用済樹脂収納容器	2個	2個
	その他（大型機器）	4個	4個
撤 去 物 等 保 管 棟	200ℓドラム缶	148本	148本
	1 m <sup>3</sup> 鋼製容器	41個	41個
原 子 炉 室 保 管 棟	原子炉室一括撤去物	1体	1体

\*平成25年2月14日の立入調査において、平成24年10月～12月に原子力機構が行った自主点検において200L黄色ドラム缶35本に錆の発生を確認したこと、同一エリアのドラム缶について詳細確認をしていること、補修は3月中を目途に行うことの説明を受けたため、現場にて錆の程度及び措置の状況を確認し、適切に管理されていることを確認した。

なお、錆の発生を確認したドラム缶は、平成25年4月10日に措置を完了した旨、平成25年4月18日に原子力機構から報告を受けた。（別紙参照）



## 2. 空間放射線

放射能監視計画に基づき、浜関根他3地点において蛍光ガラス線量計（RPLD）による積算線量測定を実施した（表2参照）。

測定値はすべて過去の測定値の範囲内であり、これまでと同じ水準であった。空間放射線の測定結果に施設からの影響は認められなかった。

表2 RPLDによる積算線量測定結果 (単位： $\mu\text{Gy}/91\text{日}$ )

地 点	平成24年度				過去の測定値の 範囲*
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
浜関根	95	102	101	91	86～103
美 付	88	98	95	84	80～98
関 根	89	105	102	82	77～105
水川目	87	97	93	82	76～97

※：平成19～23年度の測定値。ただし、美付については平成22年5月から8月にかけて、測定地点近傍でリサイクル燃料貯蔵(株)によるモニタリングポスト建設工事が行われ周辺環境が変化したため、平成22年度第3四半期～23年度の測定値。

## 3. 環境試料の核種分析

放射能監視計画において、放射性液体廃棄物の放出の都度、同放出水等の核種分析を行うこととしているが、平成24年度は海中放出がなかったことから、核種分析は実施していない。

## 燃料・廃棄物取扱棟に貯蔵中のドラム缶の腐食について

独立行政法人日本原子力研究開発機構  
青森研究開発センター  
むつ事務所

## 1. はじめに

平成 24 年 10 月 24 日に、燃料・廃棄物取扱棟 1 階固体廃棄物貯蔵室に貯蔵中の 200ℓドラム缶 1 本の表面に腐食(錆)(約 7cm×7cm)を発見した。その後、現状配置における目視確認(10月～12月)を経て、12月から翌年3月にかけて同貯蔵室に貯蔵中のドラム缶等を対象として詳細確認を実施した。詳細確認で腐食(錆)が確認されたドラム缶については補修を実施(3月～4月)した。また、補修作業と並行してドラム缶等の再配置を実施し、一連の処置作業を平成 25 年 4 月 10 日に完了した。

## 2. ドラム缶等の詳細確認結果

固体廃棄物貯蔵室に貯蔵中のドラム缶等を対象として、全体(天板、側板、底板、溶接線)にわたる詳細確認を実施した。その結果、判定区分<sup>\*</sup>A<sup>-</sup>のドラム缶 35 本、判定区分Cのドラム缶 3 本を確認した。これらドラム缶の腐食(錆)は、そのほとんどが溶接線部で発生しており、底板での発生はなかった。

なお、同貯蔵室以外に貯蔵中のドラム缶等については、現状配置における目視確認の結果、腐食(錆)はまったくなかった。

## 3. ドラム缶の補修

判定区分A<sup>-</sup>のドラム缶は、当該部をサンドペーパー等で除去し、錆止め材及び塗装材にてタッチアップ塗装を行った。また、判定区分Cのドラム缶は、300ℓドラム缶を用いてオーバーパックスするとともに、当該ドラム缶の腐食部は下地調整及び錆止め塗装等を行い、減肉部分は補強のため充填剤等の塗布を行った。

## 4. 腐食(錆)の原因と対策

## (1) 腐食(錆)の原因

ドラム缶の腐食(錆)の原因は、主にドラム缶表面に結露が発生し、胴部溶接部分に水分が滞留したことにより発錆したものと判断した。

## (2) ドラム缶の腐食(錆)の対策

ドラム缶の密集状況及び換気環境の改善等を目的にドラム缶等の配置変更を行った。また、ソフト的対策として、巡視点検時における視点の明確化、定期的点検(1回/年)におけるドラム缶等の点検の具体化を図ることとした。

\* 判定区分

判定区分	腐食状況
A <sup>-</sup>	僅かな錆があるがサンドペーパー等で容易に除去できる。
B	錆びているが健全性に影響がない。多少のケレン(ワイヤーブラシ等)が必要。
C	錆(腐食)が大きく、そのまま放置すると内部と貫通する孔が開きかねない。
D	錆(腐食)が著しく、貫通孔が開いている。

以上

独立行政法人日本原子力研究開発機構  
青森研究開発センターむつ事務所に  
係る放射能監視結果  
(平成24年4月～平成25年3月)

平成25年7月

独立行政法人日本原子力研究開発機構  
青森研究開発センターむつ事務所

## 目 次

1 固体廃棄物の保管状況 .....	1
2 放射線管理の状況 .....	1
3 空間放射線 .....	2
4 環境試料 .....	3

別紙 1 むつ事務所附帯陸上施設から放出された排気中のトリチウム平均濃度

## 1 固体廃棄物の保管状況

固体廃棄物の保管状況について、表1に示す。2000 ドラム缶が23年度末と比較し、24年度末の時点で2本増加している。内容物は、定常の点検作業で発生した綿手袋等の雑固体廃棄物が主なものである。

表1 固体廃棄物の保管状況

保管場所	区 分	平成24年 3月31日	平成25年 3月31日	備 考
燃料・廃棄物 取 扱 棟	2000 ドラム缶	498 本	500本	
	1m <sup>3</sup> 鋼製容器	27 個	27 個	27個の内、2個 (8包)は使用済 排気フィルタ
	3m <sup>3</sup> 鋼製容器	3 個	3 個	3個(57包)は使 用済排気フィルタ
	使用済樹脂収納容器	2 個	2 個	
	その他(大型機器)	4 個	4 個	
撤 去 物 等 保 管 棟	2000 ドラム缶	148 本	148 本	
	1m <sup>3</sup> 鋼製容器	41 個	41 個	
原子炉室保管棟	原子炉室一括撤去物	1 体	1 体	

## 2 放射線管理の状況

放射性気体廃棄物及び放射性液体廃棄物の放出状況について表2に示す。気体廃棄物のトリチウムは、廃液貯留タンク内に残留している原子炉1次冷却水中のトリチウムに起因するものであり、排気中のトリチウム濃度は、別紙1に示すとおり、周辺監視区域外における空気中の濃度限度を十分下回っていた。なお、その他については、表2に示すとおり、いずれも検出限界濃度未満であった。

平成24年度の放射性液体廃棄物の放出は、実施されなかった。

表2 放射性廃棄物の放出状況

(単位：Bq)

測定項目		平成24年度			
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
気体	トリチウム	$<2.8 \times 10^6$	$<3.5 \times 10^6$	$3.8 \times 10^6$	$<1.4 \times 10^6$
	その他	*	*	*	*
液体	トリチウム	—	—	—	—
	トリチウムを除く核種	—	—	—	—

- 注) 1. \*：当該期間中、検出限界濃度以下であったことを示す。  
 2. <：当該期間中の測定値に検出限界以下の値が含まれることを示す。  
 3. —：当該期間中の放出実績がなかったことを示す。  
 4. 放射性気体廃棄物（トリチウム）についての詳細は、別紙1参照。

### 3 空間放射線

事業所周辺の2地点における環境の空間放射線の測定結果について、表3に示す。いずれの測定値についても、過去の測定値の範囲内であり、これまでと同じ水準であった。空間放射線の測定結果に施設からの影響は認められなかった。

表3 蛍光ガラス線量計(RPLD)による積算線量測定結果

(単位： $\mu$ Gy/91日)

測定地点	平成24年度				過去の測定値の範囲※
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
気象観測所	97	104	104	90	80~108
浜 関 根	104	114	112	92	82~116

※平成19~23年度の測定値

## 4 環境試料

環境試料（海水、海底土及びコンブ）の放射能測定結果を、表4に示す。

$^{60}\text{Co}$ 、 $^{137}\text{Cs}$ の放射能については、過去の測定値の範囲内であり、これまでと同じ水準であった。環境試料の放射能測定結果に施設からの影響は認められなかった。

表4 核種分析測定結果

調査項目	採取地点	採取年月日	単位	核種	測定結果	過去の測定値の範囲 (H1～H23年度)
海 水	排水口付近	24. 5. 8	Bq/ℓ	$^{60}\text{Co}$	ND	ND
				$^{137}\text{Cs}$	$2.2 \times 10^{-3}$	ND ～ $4.4 \times 10^{-3}$
海 底 土	排水口付近	24. 5. 8	Bq/g 乾土	$^{60}\text{Co}$	ND	ND
				$^{137}\text{Cs}$	ND	ND ～ $5.9 \times 10^{-4}$
コ ン ブ	関根漁港沖	24. 8. 29	Bq/g 生	$^{60}\text{Co}$	ND	ND
				$^{137}\text{Cs}$	ND	ND ～ $1.6 \times 10^{-4}$

注) 1. ND： 検出限界濃度未満を示す。

今年度の検出限界濃度は、

海 水(Bq/ℓ)： $^{60}\text{Co}$ ： $1.5 \times 10^{-3}$ 、 $^{137}\text{Cs}$ ： $1.3 \times 10^{-3}$

海底土(Bq/g乾土)： $^{60}\text{Co}$ ： $6.1 \times 10^{-4}$ 、 $^{137}\text{Cs}$ ： $5.8 \times 10^{-4}$

コ ン ブ(Bq/g生)： $^{60}\text{Co}$ ： $1.5 \times 10^{-4}$ 、 $^{137}\text{Cs}$ ： $1.1 \times 10^{-4}$

## むつ事務所附帯陸上施設から放出された排気中のトリチウム平均濃度

むつ事務所の附帯陸上施設(燃料・廃棄物取扱棟、保管建屋及び機材・排水管理棟)の廃棄施設から放出されたトリチウムの放射能濃度について、別表1に示す。

別表1 むつ事務所附帯陸上施設から放出された排気中のトリチウム平均濃度

(平成24年度)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間
平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$< 1.7 \times 10^{-8}$	$< 2.1 \times 10^{-8}$	$2.3 \times 10^{-8}$	$< 8.8 \times 10^{-9}$	$< 1.9 \times 10^{-8}$
放出量 (Bq)	$< 2.8 \times 10^6$	$< 3.5 \times 10^6$	$3.8 \times 10^6$	$< 1.4 \times 10^6$	$< 1.2 \times 10^7$
濃度限度比	$3.4 \times 10^{-6}$	$4.2 \times 10^{-6}$	$4.6 \times 10^{-6}$	$1.8 \times 10^{-6}$	$3.8 \times 10^{-6}$
周辺監視区域外の空気中の濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$5 \times 10^{-3}$ (性状: 水)				

ここで、

四半期放出量 = 平均濃度 × 四半期排気量

年間放出量 = 四半期放出量の総和

濃度限度比 = 平均濃度 / 周辺監視区域外の空気中の濃度限度



平成25年7月23日  
独立行政法人日本原子力研究開発機構  
青森研究開発センターむつ事務所

## 青森研究開発センターむつ事務所附帯陸上施設等の現状と今後の予定

### 1. 現状

原子力船「むつ」の解役や附帯陸上施設の廃止措置等に伴って生じた放射性廃棄物等は、撤去物等保管棟等に安全に保管管理されている。また、使用済燃料は、平成13年度に全数が日本原子力研究開発機構東海研究開発センター原子力科学研究所へ搬出され、燃料試験施設で平成18年度末までに再組立てが行われ、保管中である。

平成18年10月20日に認可された「廃止措置計画」に従い、残存する原子炉施設の維持管理を行っている。

平成24年度においては、文部科学省原子力規制室及び原子力規制庁原子力規制事務所による原子炉施設の遵守状況の検査が合わせて2回、保安巡視が合わせて5回実施されるとともに、「独立行政法人日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能の監視に関する協定書」に基づく、青森県、むつ市及び青森県漁業協同組合連合会による放射性廃棄物の保管状況に関する立入調査が行われ、施設の運転管理及び放射性廃棄物の保管管理が適切に実施されていることが確認された。

### 2. 今後の予定

撤去物等保管棟等に保管中の放射性廃棄物及び附帯陸上施設の廃止措置等によって将来発生する放射性廃棄物等の処分については、研究施設等廃棄物の処分が可能な廃棄事業者の廃棄施設において、廃棄物の受入れが可能であることを確認してから行うこととする。

なお、原子力船「むつ」の原子炉室については、むつ科学技術館において展示物として、当分の間、保管管理を行う予定である。

独立行政法人日本原子力研究開発機構  
青森研究開発センターむつ事務所に係る放射能監視計画

(青森県・むつ市実施分)

青森県・むつ市

# 目 次

1. 放射能監視計画 .....	1
2. 環境放射線等測定及び環境試料採取の地点図 .....	2

## 1. 放射能監視計画

放射能監視計画を下表に示す。監視項目等の内容は、以下のとおりである。

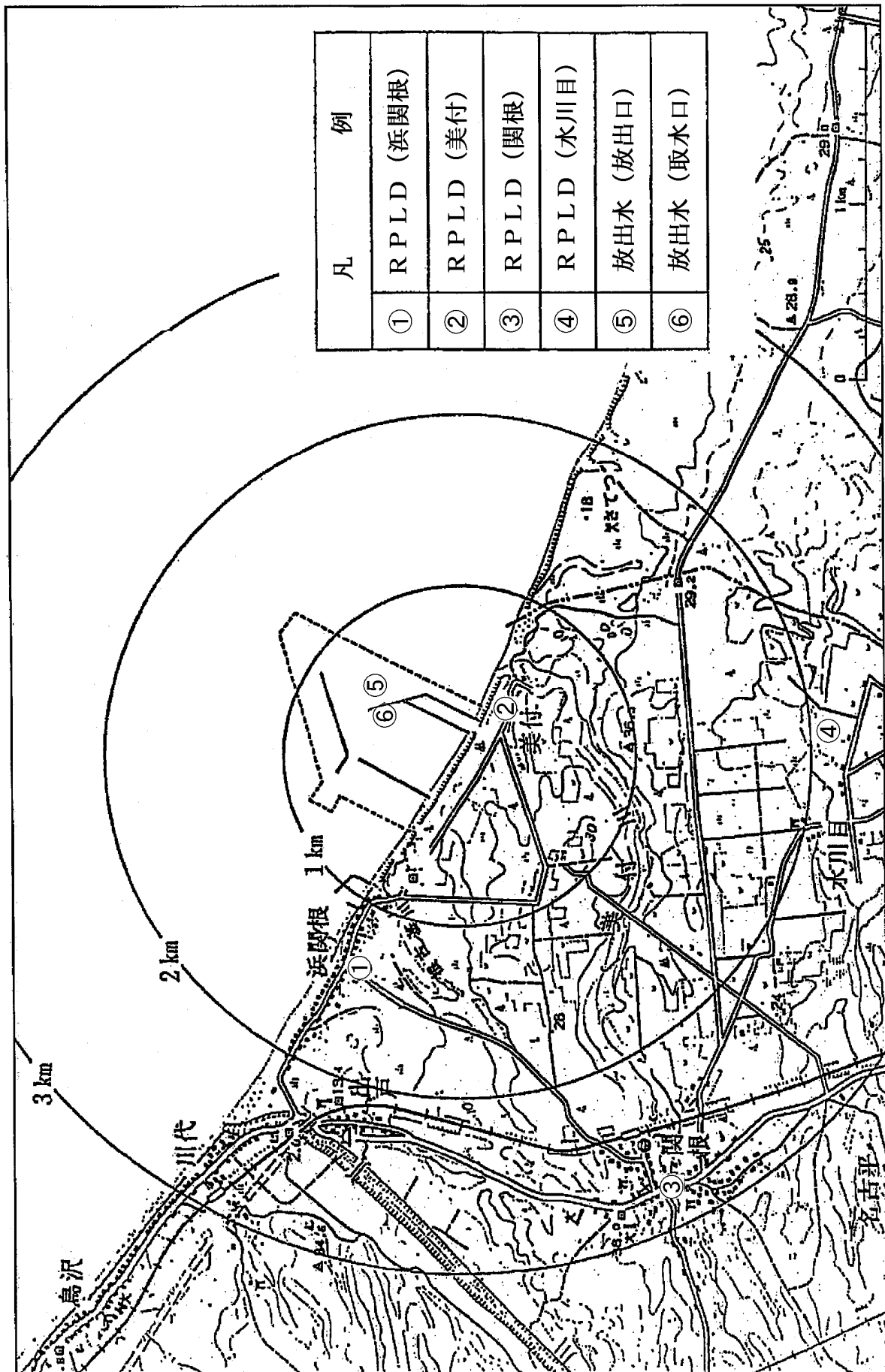
### ○青森県実施分

監視項目		地点	頻度	時期	備考
固体廃棄物	定期	独立行政法人 日本原子力研 究開発機構 青森研究開発 センター むつ事務所	年2回	8月、2月	
	その他				
空間放射線	積算線量 (RPLD)	浜関根 美付 関根 水川目	年4回	四半期ごと	
環境試料の 核種分析 $\left[ \begin{array}{l} {}^{60}\text{Co} \\ {}^{137}\text{Cs} \end{array} \right]$	放出水	放出口		放出の都度	
		取水口			

### ○むつ市実施分

監視項目		地点	頻度	時期	備考
固体廃棄物	定期	独立行政法人 日本原子力研 究開発機構 青森研究開発 センター むつ事務所	年2回	8月、2月	
	その他				

2. 環境放射線等測定地点図



独立行政法人日本原子力研究開発機構  
青森研究開発センターむつ事務所に  
係る放射能監視計画

独立行政法人日本原子力研究開発機構  
青森研究開発センターむつ事務所

## 目 次

1. 放射能監視計画 ..... 1
2. 環境放射線測定及び環境試料採取の地点 ..... 2

## 1. 放射能監視計画

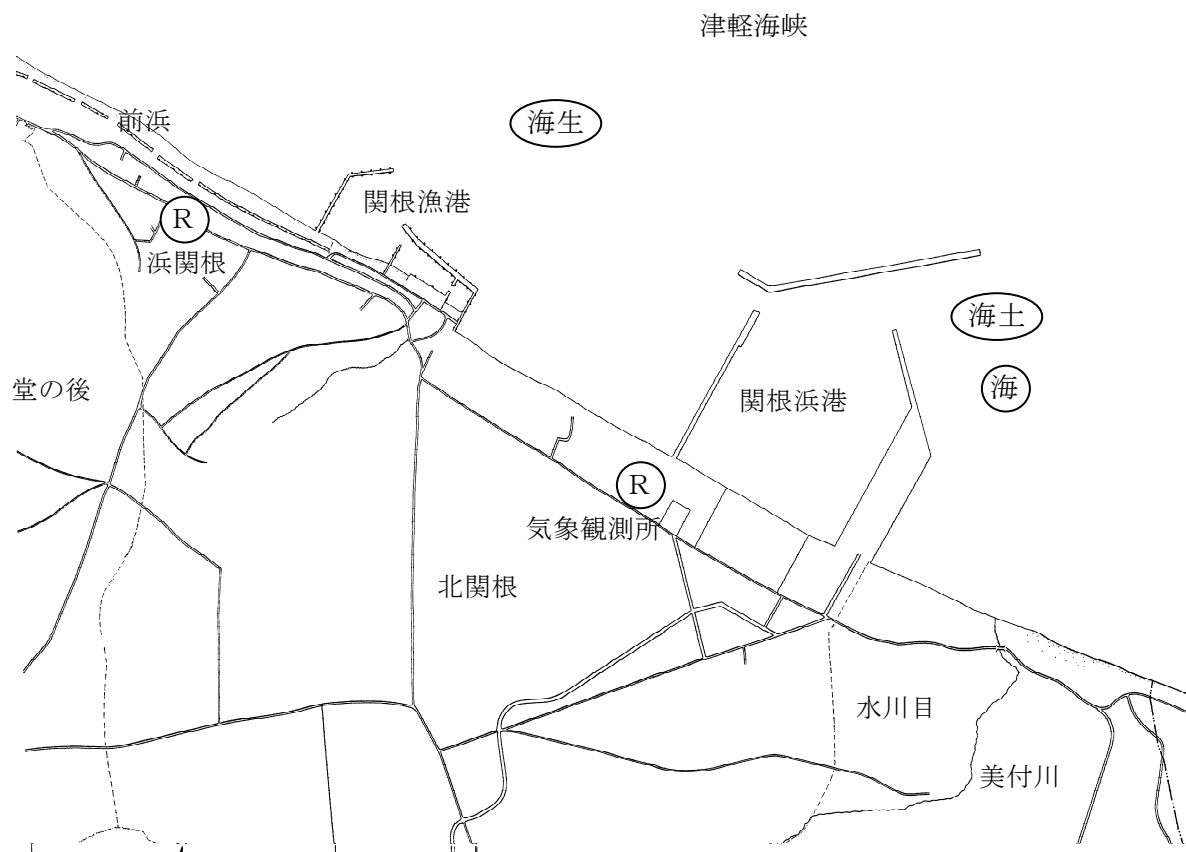
放射能監視計画を表1に示す。監視項目等の内容は、以下のとおりである。

表1 放射能監視計画

監視項目	地点	頻度	時期	備考
積算線量 (RPLD)	気象観測所 浜 関 根	年4回	四半期毎	
海 水	排水口付近	年1回	5 月	$^{60}\text{Co}$ 、 $^{137}\text{Cs}$
海 底 土	排水口付近	年1回	5 月	
コ ン ブ	関根漁港沖	年1回	8月(収穫期)	



## 2. 環境放射線測定及び環境試料採取の地点



海	海水
海生	海産生物(コンブ)
海土	海底土
R	RPLD

## 原子力船「むつ」安全監視委員会開催状況

開催日時等	議 題	備 考
第1回 (S49.10.24) 大湊ホテル (むつ市)	1 原子力船「むつ」の定係港停泊期間中における放射能監視の実施方法について ①青森県実施に係る原子力船「むつ」の定係港停泊期間中における放射能監視の実施方法について ②むつ市実施に係る原子力船「むつ」の定係港停泊期間中における放射能監視の実施方法について 2 その他	S49.8.26 出力上昇試験のため大湊港出港 S49.9.1 「むつ」放射線漏れ発生
第2回 (S50.3.28) 丸大 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について 3 その他	S49.10.5 大湊港へ帰港
第3回 (S50.9.19) 丸大 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について 3 その他	
第4回 (S51.4.30) 丸大 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について 3 その他	
第5回 (S51.9.17) アラスカ会館 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について 3 その他	
第6回 (S52.5.20) ホテル青森 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について 3 原子力船「むつ」の定係港出港時における監視計画について 4 その他	
第7回 (S53.1.19) ホテル青森 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について 3 その他	
第8回 (S53.9.18) ホテル青森 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について 3 原子力船「むつ」の臨時航行検査時 (海上運転) における放射能監視計画について 4 原子力船「むつ」の出港時における放射能監視計画に基づく実施計画について 5 その他	S53.9.29 海上試運転 S53.10.11～10.16 大湊港から佐世保港へ回航

開催日時等	議 題	備 考
第9回 (S53.12.26) ホテル青森 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る臨時航行検査時 (海上運転) 及び出港時並びに出航後の放射能監視結果について 3 その他	
第10回 (S57.7.29) アラスカ会館 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」定係港に係る放射線等監視結果について 3 昭和57年9月の原子力船「むつ」定係港入港想定時における監視計画について 4 上記入港後の原子力船「むつ」定係港停泊時の監視計画について 5 その他	S57.9.6～8.31 佐世保港から大湊港へ回航
第11回 (S57.11.30) 野辺地町中央公民館 (野辺地町)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る放射線等監視結果について 3 その他	
昭和58年度 (持ち回り)	1 原子力船「むつ」に係る監視結果について 2 関根浜地区環境放射能調査計画について	
昭和59年度 (持ち回り)	1 原子力船「むつ」に係る監視結果について	
昭和60年度 (持ち回り)	1 原子力船「むつ」に係る監視結果について 2 船内保管放射性廃棄物の取扱いについて	
昭和61年 (持ち回り)	1 原子力船「むつ」に係る環境放射線等監視結果について	
第12回 (S63.1.12) アスパム (青森市)	1 原子力船「むつ」に係る環境放射線等監視結果について ①定常時監視結果 ②温態予備点検作業等に係る監視結果 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視計画 (案) について 3 原子力船「むつ」の関根浜回航時における放射能監視計画 (案) について 4 原子力船「むつ」に係る新監視協定における放射能監視基準 (案) について 5 その他	S63.1.26～1.27 大湊港から関根浜港へ回航

開催日時等	議 題	備 考
第13回 (H2.2.27) 青森国際ホテル (青森市)	1 原子力船「むつ」の関根浜回航時における放射能監視結果 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果 3 その他	
第14回 (H2.2.19) 青森国際ホテル (青森市)	1 原子力船「むつ」の現在の状況と今後の予定について 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果 3 その他	H2.3.29 出力上昇試験開始
第15回 (H3.2.22) 青森国際ホテル (青森市)	1 原子力船「むつ」の現在の状況と今後の予定について 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果 3 液体廃棄物の放出に伴う放射能監視(案)について	H2.7.10 洋上試験開始
第16回 (H3.2.22) 青森国際ホテル (青森市)	1 原子力船「むつ」の現在の状況と今後の予定について 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果 3 液体廃棄物の放出に伴う放射能監視(案)について	H3.2.25 実験航海開始
第17回 (H4.2.3) アラスカ会館 (青森市)	1 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果 2 その他	H4.9.18 解役工事開始
第18回 (H5.2.16) アラスカ会館 (青森市)	1 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果 2 今後の原子力船「むつ」に係る監視計画について 3 その他	H5.5.28 燃料取出し作業開始
第19回 (H5.11.5) アラスカ会館 (青森市)	1 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果 2 今後の原子力船「むつ」に係る監視計画について 3 その他	H7.6.22 原子炉室一括撤去 解役工事終了
第20回 (H8.3.19 ~3.29) 持ち回り	1 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果 2 平成8年度以降の青森県及び日本原子力研究所の監視計画 3 その他	
第21回 (H9.10.28 ~11.20) 持ち回り	1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果 2 その他	H9.11.7 「みらい」関根浜港入 港
第22回 (H11.1.27 ~2.8) 持ち回り	1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果 2 その他	
第23回 (H12.2.10 ~2.24) 持ち回り	1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果 2 その他	

開催日時等	議 題	備 考
第23回 (H13.1.26 ～3.16) 持ち回り	1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果 2 その他	H13.6.25～30 H13.9.3～7 H13.11.13～17
第24回 (H14.2.18 ～3.1) 持ち回り	1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果 2 日本原子力研究所むつ事業所周辺地域に係る放射能監視 計画等の見直しについて 3 その他	原子力船「むつ」使用 済燃料搬出
第25回 (H15.2.21 ～3.18) ) 持ち回り	1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果 2 積算線量の測定方法について	
第26回 (H15.10.31 ～11.7) 持ち回り	1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果 2 積算線量の測定方法の変更について	
第27回 (H17.1.24) 県 庁	1 会長の選任について 2 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果	
第28回 (H17.10.18) 県 庁	1 平成16年度の日本原子力研究所むつ事業所に係る放射 能監視結果について 2 平成17年度の日本原子力研究所むつ事業所に係る放射 能監視計画について	
第29回 (H18.4.24) アラスカ (青森市)	1 平成17年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係 る放射能監視結果について 2 平成18年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係 る放射能監視計画について	
第30回 (H19.5.17) 県 庁	1 平成18年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係 る放射能監視結果について 2 平成19年度の日本原子力研究開発機構青森研究開発セ ンターむつ事務所に係る放射能監視計画について	
第31回 (H20.5.20) 県 庁	1 平成19年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係 る放射能監視結果について 2 平成20年度の日本原子力研究開発機構青森研究開発セ ンターむつ事務所に係る放射能監視計画について	
第32回 (H21.6.5) 県 庁	1 平成20年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係 る放射能監視結果について 2 日本原子力研究開発機構青森研究開発センターむつ事務 所に係る放射能監視計画について	

開催日時等	議 題	備 考
第 3 3 回 (H22. 6. 25) ラ・プラス青い森 (青森市)	1 平成 2 1 年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について 2 その他	
第 3 4 回 (H23. 7. 19) ラ・プラス青い森 (青森市)	1 平成 2 2 年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について 2 その他	
第 3 5 回 (H24. 6. 11) アラスカ (青森市)	1 平成 2 3 年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について 2 その他	

